

## インターナショナルマッチ 戦況連絡票

開催日	2018 年 6 月 29 日 金 曜日	試合コード	
開催地 (都道府県名)	東京都	会場名	大森スポーツセンター

結果	A		スコア		B
	日本	31	前 半	32	ブラジル
			13 — 16		
			後 半		
			18 — 16		
			第1延長前半		
			—		
			第1延長後半		
			—		
			第2延長前半		
			—		
			第2延長後半		
—					
7mTC					
—					
—					

戦況	見出し	<b>彗星JAPAN1点差で惜しくも勝利掴めず</b>
	前半	<p>試合開始、速攻により20番渡部がシュートを決め日本の先制、その後も小室、元木がシュートを確実に決める。一方ブラジルも26番ギマランイスがミドルなどで3得点の活躍をするも開始10分6-4と日本がリード。19分過ぎ11-12と初めてブラジルにリードを許したところで日本はタイムアウトを要求した。21分ブラジル49番が2分退場で日本が数的優位となるが89番GKアルメリダがシュートを止めチャンスを生かすことが出来ず。ブラジルもノーマークを作るも22番坂井がシュートを止めた。20分までは点の取り合いを要していたが、20分過ぎからは両キーパーが踏ん張り13-16とブラジルリードで前半を終える展開となった。</p>
後半	<p>後半からは出場の15番部井久をトップにおき5-1ヘシフトチェンジした日本、ディフェンスから流れを作り15番部井久が速攻で2連取する。ブラジルも14番サントスが高さを生かした豪快なロングシュートで得点を重ね点差が詰まらない。14分44番ドットラが2分間退場により7mスローを与えられこれをしっかり19番徳田が決める。その後も2分間退場中に33番東江がカットインを落ち着いて決め25-25同点とした。その後も日本が点数を取ればブラジルも点数を取る展開、同点で迎えた残り38秒ブラジルボールのところ、残り3秒23番フィーリョから27番サンタエラへのポストパスが通りこれを落ち着いて決めた。31-32ブラジルの勝利で奇しくもブザーが鳴り試合終了となった。</p>	

戦況報告書作成者	井上 裕太
----------	-------